

学校再開に向けて

5月20日（水）、ショッキングなニュースが報じられました。ある程度覚悟はしていたものの、その発表に驚きを隠せませんでした。日本高野連は、今年の全国選手権大会の中止を正式に発表しました。インターハイ中止に続く選手権大会の中止は、高校3年生にとっては心穏やかではないでしょう。しかし、大切な命を守るための苦渋の決断であったということは理解してもらいたいと思います。努力してきたことは決して無駄にはなりません。投げやりにならないで、前向きに進んでもらいたいと思います。

さて、5月11日（月）、山本一太群馬県知事の臨時記者会見があり、「経済活動再開に向けたガイドライン」が示されました。その中には学校再開に向けてのガイドラインも示されており、警戒度を2に引き下げれば、週2～3日の分散登校で学校を再開するというものです。警戒度は4～1（警戒度4は強、警戒度1は弱）まであります。警戒度が2になれば本校も6月1日（月）から学校を再開します。さらに警戒度を1に引き下げれば、週5日の分散登校とした後、通常登校にします。

令和2年度がスタートしてから長い臨時休業が続きました。1年生は入学式以来ずっと休業状態でありましたので、高校生になったという実感が沸かなかったのではないかと思います。分散登校ではありますが、いよいよ高校生活が始まります。中学までとは通学時間も通学距離も異なります。一日も早く高校生活に慣れてください。また、2、3年生は高校生活の大切な3ヶ月を削られてしまったという思いが強いのではないかと思います。この3ヶ月の穴埋めはそう簡単にはできないと思いますが、ピンチをチャンスに変えるという発想でこれからの学校生活を自分の力で充実させてほしいと思っています。新型コロナウイルス感染症との戦いは長期戦が予想されます。学校が再開してもすぐには通常の学校生活には戻りません。これからは「新しい生活様式」を意識して学校生活、そして家庭生活を送り、新型コロナウイルス感染症から自分や家族を守りましょう。



結びになりますが、学校再開に向けて決まりごとやお願いごとも幾つかあります。再開後の学校が楽しく充実したものになるように全員で協力してこの困難を乗り越えていきましょう。

令和2年5月25日（月）
群馬県立桐生工業高等学校
校長 藤生 卓也